ウェブサイトから調査した大学病院総合診療部門の現状

武岡　宏明　　堀端　　謙　　増井　信太
鯵坂　和彦　　鍋島　茂樹

福岡大学病院総合診療部

要旨：目的：19 番目の基本領域専門医として総合診療専門医が設置されることが決まり，総合診療の重要性が増している．しかし，どの大学がどのような総合診療部門を持っているのかは必ずしも明確になっていない．今回，総合診療部門の実態の現状と把握が目的である．
方法：調査病院は，全国 81 校の大学医学部ならびに分院を除いた病院本院の公式ウェブサイトを全て閲覧した．そのうち，総合診療部門を担当する診療科の名称とその診療内容，および対応する医学部講座を調査した．
結果：2017 年 2 月現在で総合診療にあたる診療科を有する大学病院本院は 81 病院中 69 病院（85.2％）であった．名称に関しては「総合診療科」「総合診療部」「総合内科」が大半を占めていた．診療内容に関しては，外来診療のみ行っている施設は 37 病院（53.6％），外来診療＋入院診療が 20 病院（29.0％），外来診療＋入院診療＋救急部門（ER）が 11 病院（15.9％），入院診療のみが 1 病院（1.5％）であった．対応する医学部講座を有する施設は 69 校中 52 校（75.4％）で講座名称は様々であるが，名称中に「総合診療」，「総合内科」，「地域・家庭」を含むものが比較的多かった．大学病院の総合診療部門に所属していない総合診療関連の医学部講座（地域医療学等）が 34 大学に 39 講座あることがわかった．
結論：大学病院本院における総合診療部門および医学部講座の名称には多様性があり，診療および業務内容も様々であることがわかった．

キーワード：総合診療科，総合内科，家庭医療，地域医療学，プライマリ・ケア